

1学期も残り少なくなり、先生方はラストスパートに入っていることだと思います。土日の集中豪雨も大変でしたが、今週は暑さとの戦いとなりそうです。皆さん体調には十分お気を付けくださいね。

さて、先週は2つの「見て見て授業」がありました。どちらも算数科です。今年度は、「見て見て」も算数の授業が多くなっています。研究の中心は国語科ですが、日々の板書や授業の展開から、中小の先生方は算数科も新CSを意識して授業を実践されていることが分かります。

## 見て見ての授業より

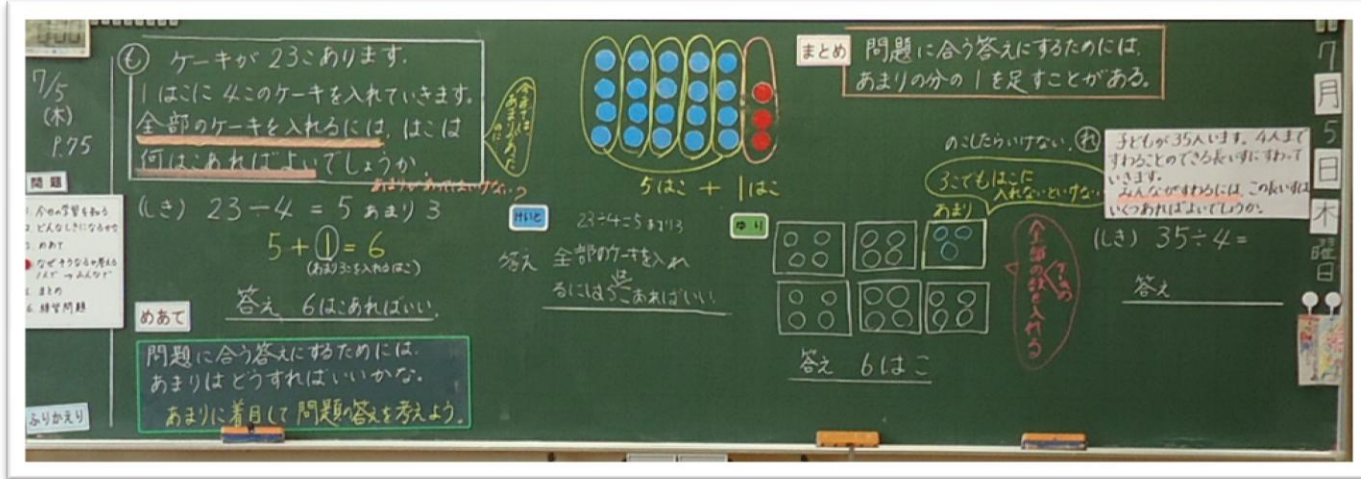
7月5日(木) 4校時 算数科 3年 単元名「あまりのあるわり算」

宮川 磨理 教諭

本時の目標：あまりのとらえ方について理解を深める



## 最終板書



### 宮川先生のリフレクションより

**資** 九九を確実に覚えさせる。簡単・明瞭な指示、発問を心がけ、リズムよく授業を行う。

**主対深** 子どもが必然性を持って課題に取り組めるように、問いが生まれる課題設定・提示をする。友だちの考えを分かろうとして聞く聞き方の指導をしていく。

困り感が出た時にペア活動を取り入れて、理解を深めさせる。自分の考えをアウトプットし、友だちの考えをインプットさせる。

**見** 適用問題の工夫→本時に学んだことだけでなく、答えの求め方の違う既習の問題を混ぜて取り組ませる。

**感** 児童の実態をしっかり見取って学習を計画する。ペア活動を取り入れる。



宮川先生、校内研に引き続き算数の授業公開ありがとうございました。今回の授業では、余りが出た場合、商に1を足す問題を解きました。子どもたちは、「全部のケーキを入れるには・・・って書いてあるから」「余りの3個も箱に入れないといけないから」など場面をイメージして考えることができていました。適用問題も商に1を足すパターンが2問だったので、商に1を足さない問題を混ぜることで力を試すことができるのではないかと事後研で話題になりました。また、適用問題は教科書に書き込みさせて時間短縮するとよいという意見も出ていました。

7月6日(金) 2校時 単元名「じごくとしかん」

1年1組 濱松 美枝教諭

本時の目標：時刻と日常生活を関連付けて、時計から何時、何時半の時刻を読めるようにする。



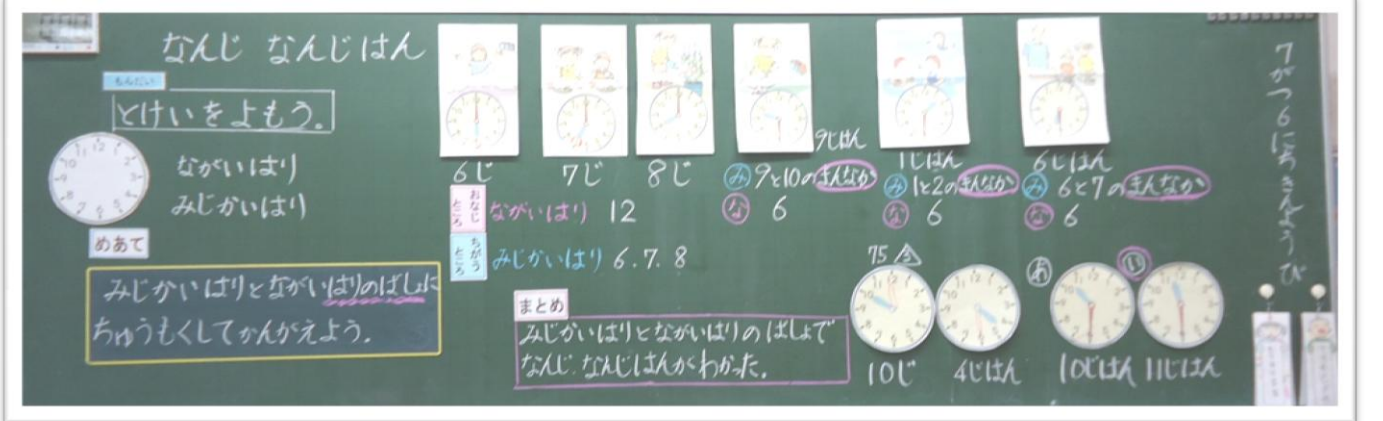
短い針が6で長い針が12で、6時です。



先生の手造りの簡易な時計を使って、お互いに問題を出し合っています。



## 最終板書



### 濱松先生のリフレクションより

**資** 適用問題の量が少なかったため、理解できているかどうかの見取りが十分できなかった。針の位置を説明させるよりも適用問題の量を増やして時計が読めるようになった実感を持たせるべきだった。

**主対深** 自作の時計を使って、友だちと問題を出し合う活動は、ペアの差は見られたものの一生懸命取り組む姿が見られた。ペアの組み方、板書、教具の数等を工夫していきたい。

**見** 針のない時計を提示することで時計を読むためには針が必要だと再認識することができたと思う。何時と何時半の時計の針を書き込む時に迷っていた子どもがいたので、短針を隠したり長針を隠したりして何時や何時半かを問うことで確認すれば良かった。

**感** どこに重点を置いて学習の展開をすればよいのか、タイムマネジメントに気を付けていきたい。

今回の1年生の「見て見て授業」も隣のクラスの先生が1歩先を行って、授業を見合った後に課題になったところを改善して授業を行っていました。濱松先生と今城先生は昨年度からのペアですが、今年度も継続して学年でじっくり日々授業研究をされていることが分かります。1時間の授業で何時と何時半を全ての子どもに理解させるには、何がポイントなのか押さえておくことが大事ですね。2学期には「何時何分」を学習し、2年生の「時刻と時間」3年生の「時刻と時間の求め方」につながっていきます。

## お宝ファイル 活用してくださいね!

以前に提案した、国語の成果物を保管するファイル「お宝ファイル」の用意が整いました。先週の校内研の間に、宮崎さんが手配してくださり、和田さん、支援員さんの田村さん、畠中さん、花岡さんが名前のシールを全員分貼ってくださいました。ありがとうございました！  
そろそろ1学期末の整理を児童とするとします。ぜひ活用してください。

明日13日の金曜日の4時間目は、1学期最後の見て見て授業です。松本先生よろしくお願いします。